

# さっぽろ KOMEI

●発行者 札幌市議会公明党議員会 ●TEL 011-211-3219

2025  
新春号  
全区版

## 皆様の声をカタチに。 現場発の政策実現へ!

### 2025年予算編成と物価高対策に対する要望書を提出



札幌市議会公明党は、秋元克弘市長に対し、『2025年度札幌市予算編成に対する要望書』と『「新たな総合経済対策」を踏まえた物価高対策の緊急要望書』を同時提出し、市民の暮らしを守るとともに、経済の活性化に向けた政策提言を行いました。市民・事業者・各団体等より寄せられた大切な現場の声を踏まえ、5つの指標のもと188項目にわたり要望。市長より「いずれも重要な項目であると認識しています。予算編成に反映できるよう鋭意取り組んでいきたい」と前向きに取り組むたいとのコメントがありました。



## さっぽろ結婚支援センター 登録順調!

昨年9月に本格稼働した「さっぽろ結婚支援センター」。12月末までに、入会申込み者数は1,272人、お見合い成立数は570組に達しました!(2024年12月31日時点)

入会申込み者数 **1,272**人 お見合い成立数 **570**組

※2024年12月31日現在

詳しくはQRコード、またはホームページからアクセスを!

<https://www.kekkon-center.city.sapporo.jp/>



# 希望の未来をつくる！ 持続可能なまちづくりへの 施策を前進！



わたなべ泰行議員（南区） 第3回定例市議会

## MICE 推進でまちづくりを加速！

世界的に期待が大きいGX関連会議を重要ターゲットとし、新MICE施設の機能検討と環境に配慮したMICE開催のガイドラインを策定する。

## 木材循環の推進へ木育を取り入れるべき！

「伐って、使って、植える」という木材循環の推進には市民理解が重要。今後は木育活動への取組や森林に関連した企業のCSR活動への支援を検討する。

## 行政手続きのオンライン化の推進を！

市民が希望する方法で行える行政手続きの環境整備は喫緊の課題。子ども・子育て分野など、特に市民の利便性向上に資する分野のオンライン化を加速する。

## 共的施設等へのエアコン設置支援を！

今後のエアコン設置は、健康への配慮を要する市民が利用する施設から着手し、続いて地域のコミュニティ活動の拠点施設などの整備を進める。また一定の公共性を有する民間施設のエアコン設置助成について検討する。

# 安全安心な市民生活のため 全力で推進



こぐち智久議員（東区） 第4回定例市議会

## 公園での受動喫煙対策強化を！

子どもたちが安全安心に公園を利用できるよう受動喫煙対策の取組を推進する。

## 最新の再エネ技術を積極的に採用すべき！

建物の屋根のほか、窓にも設置が可能なペロブスカイト太陽電池の実証試験を行い、市有施設の導入へ繋げていく。

## 単身高齢者への支援体制強化を！

地域包括支援センター職員のほか、区保険福祉部でも組織横断的に支援を進め、単身高齢者の孤独・孤立対策を強化していく。

## 上下水道の耐震化を急ぐべき！

平成7年1月策定予定の「上下水道耐震化計画」に基づき、上下水道の一体的な耐震化を着実に進める。

## 児童・生徒数が急増している大規模学校の対応策を急げ！

東苗穂地区のような適正規模を大きく超える学校における運用面の工夫のほか増築や改修も含めた対応を検討する。

# 各委員会で活発に質疑を展開！

公明党議員会各議員の主な委員会質疑を紹介します。

## 地域コミュニティ施設への冷房設置を！



國安まさのり議員(北区選出)

町内会など地域の活動の根幹的な施設であり、高齢者の利用も多い「地域コミュニティ施設」への冷房機器設置について、これまでの取組状況を確認。民間施設(町内会館)を含めた今後の進め方について質しました。

## 給水スポットの設置を進めよ！



福田こうたろう議員(手稲区選出)

新しい水道ビジョン案が示されました。人口減少に加え、老朽化や災害対策など厳しい経営環境にあって、安全で良質な水道水のPRのみならず、プラスチック製品の使用抑制、熱中症対策として「給水スポット」の設置を提案しました。

## 今春、整備が進む厚別山本公園に待望の「アクションスポーツ広場」がオープン！



丸山ひでき議員(厚別区選出)

厚別山本公園は令和7年度からスケートボードやBMXができる「アクションスポーツ広場」をオープンするとともに、「森の遊び場」や「サイクルコース」の整備が始まります。そして今後、BBQ等ができる「炊事広場」の整備が検討されます。

## 丘珠空港整備は100万人規模を受け入れる機能や大規模災害を想定した整備を！



前川たかし議員(白石区選出)

将来年間100万人の利用者増を想定し、待合スペースや商業機能、子どもたちが遊べるスペースなどの整備を進めます。また大規模災害に対応できる避難スペースや、食料・電源の提供ができる機能を持たせる考えです。

## 登下校の子どもたちの安全を守る！



竹内たかよ議員(清田区選出)

登下校の安全対策の重要性を主張。対策の強化を求め、教育委員会からは、課題の認識とスクールガードの増員に向けた取組を行う旨の答弁がありました。通学路の更なる環境整備についても強く要望しました。

## 高齢者や障がいのある方が安心して楽しめる観光都市に！



わたなべ泰行議員(南区選出)

移動に支障がある方が安心して観光できるように、車いすを利用されている方や、視覚・聴覚・精神障害のある方、また雪で移動が困難になる冬期間など様々なケースを想定したモニターツアーを実施し、モデルコースの情報発信や旅行商品販売に反映します。

## 歯周疾患検診の対象年齢の拡大を！



よしい七海議員(豊平区選出)

むし歯や歯周病は、自覚症状が少なく気がついたら進行しているので現在の40歳からの歯周疾患検診対象年齢に20歳・30歳も追加、対象年齢を拡大し、成人期の歯周病の早期発見及び重症化予防を推進します。

## 下水汚泥の肥料利用の促進を！



こぐち智久議員(東区選出)

国際情勢の影響による肥料価格高騰の対策として、下水汚泥の肥料利用を検討しています。今後、堆肥化や汚泥焼却灰の肥料利用、リン回収など本市に適した手法を調査します。また安全性確認のため、重金属の含有分析を継続、更に栄養成分の分析も行います。

## 認知症にやさしい地域づくりを！



森山ゆみこ議員(西区選出)

「ゆっくりレジ」等、認知症にやさしい地域を目指し、令和6年12月から認知症支援に賛同、協力する民間企業等を「認知症の方にもやさしいまちづくり協力宣言」を行う店舗や事業所として登録し、ステッカーを掲示する取組が始まりました。

## 1人1台端末へ「心と体の健康観察アプリ」を導入



くまがい誠一議員(中央区選出)

「シャボテン」アプリを活用し毎朝、健康状態の記録がスタートしました。「相談ボタン」もあり、話を聞いてほしい人に相談も可能です。議会質疑を繰り返し札幌市立の全小中学校(296校)約15万人の命と健康を守る取組が前進しました。

## 地下鉄車内に防犯カメラを設置!

痴漢被害を訴える切実な声から、利用者の安全・安心を守るための取組が前進しました。1両につき3台の防犯カメラが設置された東豊線車両を会派で視察し、死角がないことや防犯カメラが作動中であることを示すステッカーが掲示されていることも確認しました。犯罪抑止効果が期待される「地下鉄車内への防犯カメラ」の設置をこれまで粘り強く訴えてきましたが、昨年10月に試験導入され、2025年度から全車両へ本格設置が開始されます。



## 視覚障がいのある方や高齢者など文字の見えづらい方のために音声コード「Uni-Voice(ユニボイス)」を導入!



札幌市は視覚障がいのある方や高齢者など、文字の見えづらい方に対し、文字情報を二次元コードに変換し、スマートフォンアプリや専用装置で音声に変換し、読み上げる音声コード「Uni-Voice(ユニボイス)」を積極的に導入していくこととなりました。今後は、公共料金の通知をはじめ、市が作成する様々な印刷物などに「Uni-Voice(ユニボイス)」を活用した情報提供が始まります!

## 札幌市が「こども誰でも通園制度」試行実施!

こどもまんなか社会の実現へ「誰でも通園制度」の早期実現を主張し、国の2026年本格実施予定を待たず、札幌市は2024年8月から試行的事業を始めました。この制度は、保護者の就労要件などを問わず、生後6か月～2歳までの保育園などに通っていない子どもを定期的に預けられる制度です。事前登録の上、施設側と面談し希望日に利用でき、利用時間は1人につき10時間、料金は1時間300円です。「時間的、精神的に余裕が生まれ、子どもも多様な環境を体験できる」と保護者から期待の声が寄せられています。本格実施に向けてしっかり取り組んでまいります。



## 「エア・ウォーター水素ステーション札幌」(仮称)の整備進む!



2025年2月、旧中央体育館跡地に道内初となるFCバス(燃料電池バス)やFCトラック(燃料電池トラック)など、大型燃料電池車にも対応可能な定置式水素ステーションが運用開始となります。さらに、水素パイプラインで集客交流施設につなぎ、大型燃料電池によってCO2排出ゼロのオープンカフェなどの整備も検討中です。今後「移動の脱炭素化」を目指した水素モデル街区とし新システム交通を目指します。

